

2021年度 学校関係者評価シート

(1)教育理念・目標		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)		④	3	2	1	60年の歴史や既存のプログラムは充実をしている。しかし、今の高校生や在籍をしている専門学生にマッチしているかということが重要。YMCAのchristianityを基盤とした教育理念や教育目標を職員全員に浸透するまで徹底してほしい。また、ウィズコロナを見据えた生徒保護者への周知方法等を検討してほしい。「理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒、保護者等に周知が必要。コロナの影響で難しいかと思うが、授業参観や実習発表など、生徒の成長が感じられる場を公開されると良いと思う。
学校における職業教育の特色は何か		④	3	2	1	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		④	3	2	1	
理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか		4	③	2	1	
各学科の教育目標,育成人材像は,学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		④	3	2	1	

(2)学校運営		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
目的等に沿った運営方針が策定されているか		④	3	2	1	校長を中心とした責任のある学校運営、意思決定は機能している。今後も、縦(校長、事務長、事務長補佐等)、横(各学科の職員、講師、業界、地域社会)との連携を取りながら風通しのよい学校運営を行ってほしい。
事業計画に沿った運営方針が策定されているか		④	3	2	1	
運営組織や意志決定機能は,規則等において明確化されているか,有効に機能しているか		④	3	2	1	
人事,給与に関する制度は整備されているか		④	3	2	1	
教務,財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか		④	3	2	1	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		④	3	2	1	
教育活動に関する情報公開が適切になされているか		④	3	2	1	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか		④	3	2	1	

(3)教育活動	自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	YMCA専門学校が得意としている密を伴う学校行事(宿泊研修、サマーキャンプ、クリスマスパーティーなど)はコロナの影響もあり、中止を余儀なくされている。しかしそのような環境の中でも生徒と生徒、先生と生徒、生徒と教務との信頼関係を構築しようとアンケートや授業などで工夫をしている。在籍生や高校生の心を震わせるような行事やカリキュラムを今後もリサーチ、研究し、実施していただきたい。ウィズコロナを見据えた学科共通の教員育成ガイドラインの策定や専門知識向上の研修プログラムの受講等、明確な成果目標を掲げた教員の育成を行うことにより、専門性の高い充実した教育内容を提供していただきたい。また、年々多様化する生徒への対応についての研修は、非常勤講師に対しても必要と考える。
教育理念,育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④	3	2	1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	④	3	2	1	
関連分野の企業関係施設等,業界団体等の連携によりカリキュラムの作成見直し等が行われているか	④	3	2	1	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ,実技実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	
授業評価の実施評価体制はあるか	④	3	2	1	
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	
資格取得の指導体制,カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	
関連分野における業界との連携において優れた教員(本務兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1	

(4) 学修成果	自己評価				学校関係者評価委員会評価
	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	就職内定率は医療事務科100%、ホスピタリティ科95%、社会体育科100%である。また業界内定率は医療事務科92%、ホスピタリティ科71%、社会体育科83%あるが、コロナ禍の影響等で業界によっては求人内容や定義は常に変化することを考慮する必要がある。ただ、学んだことを活かせる就職先へ送り出す努力は続けていただきたい。また、学んだことと異なる職種に就職したとしても十分やっていけるだけの人間力を身につけてほしい。就職保証の実践とキャリア形成のために卒業後の支援も継続して実施してほしい。就職率の向上は年々、図られていると顕著に感じる。卒業生の動向についても、方々で活躍されている実績があるので、時間はかかると思うがSNS等で卒業生との繋がりも強化してほしい。
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1	
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1	

(5) 学生支援	自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
進路就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	就職支援についてはキャリアセンターを中心に、担任、非常勤など、生徒の就職活動の進捗が共有され、内定に向けてのフォローもあり、年々就職内定が早まっている。合わせて、学生の経済的環境、健康管理についても共有があり、学校全体で見守る体制であるように見受けられる。卒業生への支援体制については、就職しても直ぐに離職した生徒に対して、学校側の声掛けやフォローについて、支援体制が見える化していると卒業生も学校に立寄りやすくなると考える。社会人受け入れに関する環境整備と、高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取り組みに期待したい。
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1	
卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1	
高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1	

(6)教育環境	自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	施設設備は教育上十分に整備されている。ウイズコロナを見据えた教育環境の整備や学内外での実習制度の見直しが必要とされる。コロナの影響で、実習やインターンシップの中止が相次ぎ、生徒のモチベーションが気になる。外部講師を招いて、実習に変わる演習型授業等、提案できたらと考える。防災に関して、台風による計画運休に関しては早急に対応されているが、地震の対策について避難経路、安全確認など、年に一回は実際に生徒達と避難訓練が必要と考える。
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1	
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	

(7) 学生の受け入れ募集		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
学生募集活動は,適正に行われているか		4	③	2	1	学生募集活動については今までのやり方に加えSNS等を活用し学生及び保護者に情報が直接届くようにしてほしい。大学編入制度や、大学とは異なるより専門の知識を学ぶことができるカリキュラムなど、広島YMCA独自の教育方針をアピールしていただきたい。また、中学生に対して学校をアピールする機会を考えてはどうか。広島県内の中学では、職業体験を実施する事で早くに進路意識を持たせる傾向にある。リンクしてYMCA専門学校のアピールが出来ると公募活動に繋がると思う。
学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか		④	3	2	1	
学納金は妥当なものとなっているか		④	3	2	1	

(8) 財務		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		4	③	2	1	適正に行われていると考える。
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		④	3	2	1	
財務について会計監査が適正に行われているか		④	3	2	1	
財務情報公開の体制整備はできているか		4	③	2	1	

(9) 法令遵守		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか		④	3	2	1	各種法令遵守、個人情報保護に関しても対策が取られている。近年の社会情勢の変化も見極めながら対応していく必要性から、学校関係者評価委員以外でも、今後は第三者評価に向けた取り組みが必要と思われる。
個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか		④	3	2	1	
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか		④	3	2	1	
自己評価結果を公開しているか		④	3	2	1	

(10) 社会貢献・地域貢献		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献 地域貢献を行っているか		4	③	2	1	コロナ禍で活動に影響はあったものの、人格形成のための教育はこれからを担う若者にとっては重要な位置をしめる。特に広島YMCA GCCが行う社会貢献・地域活動に参加することは人間力形成には欠かせないものであり、他の専門学校にはない教育活動である。ここ2年間は難しい状況であったが、今後も継続的に参加を促してほしい。特に広島YMCAの校地は戦時中に清美小学校があり、原爆によって多くの子どもたちの命が奪われた場所で、毎年8月6日には慰霊碑に多くの方が祈りを捧げている。学校教育の中で、平和について考える日が1日でもあると良いと思う。
生徒のボランティア活動を奨励,支援しているか		4	③	2	1	
地域に対する公開講座教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか		4	③	2	1	

(11) 国際交流(必要に応じて)		自己評価				学校関係者評価委員会評価
評価項目		適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1				
留学生の受入れ派遣について戦略を持って国際交流を行っているか		4	③	2	1	2021年度はコロナ禍で海外研修は実施できなかったが、今後も広島YMCAの国際交流プログラム、学内留学生との交流プログラム等継続的に実施し多数の生徒に貴重な国際交流の場を提供し続けてほしい。また、本校は多くの留学生が日本語を学んでいるが、留学生に対して生活環境が整っているのか気になる。留学生に対して、例えば未使用やクリーニング済みのクローゼットに眠っているリクルートスーツや私服等、提供出来る場があると良いと思う。
受入れ派遣,在席管理等において適切な手続き等がとられているか		4	③	2	1	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか		4	③	2	1	
学内で適切な体制が整備されているか		4	③	2	1	